

2023 年 3 月 19 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒219 番（旧 216 番）（SK 姉）

『栄にて』

聖書⇒ヘブライ人への手紙 11:17~21 節（MM 姉）

『信仰によって、アブラハムは、試練を受けたとき、イサクを献げました。つまり、約束を受けていた者が、独り子を献げようとしたのです。この独り子については、「イサクから生まれる者が、あなたの子孫と呼ばれる」と言われていました。アブラハムは、神が人を死者の中から生き返らせることもおできになると信じたのです。それで彼は、イサクを返してもらいましたが、それは死者の中から返してもらったも同然です。信仰によって、イサクは、将来のことについても、ヤコブとエサウのために祝福を祈りました。信仰によって、ヤコブは死に臨んで、ヨセフの息子たちの一人一人のために祝福を祈り、杖の先に寄りかかって神を礼拝しました。』

礼拝讃美歌⇒72 番（旧 170 番）

『いと貴し』

聖書⇒ヨハネによる福音書 15:10、12 節（TM 兄）

『わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。』

聖書⇒ヨハネの手紙一 4:20~21 節

『「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者がいれば、それは偽り者です。目に見える兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することができません。神を愛する人は、兄弟をも愛すべきです。これが、神から受けた掟です。』

<祈>

礼拝讃美歌⇒395 番（旧 252 番）

『慈しみ深き』

聖書⇒ホセア書 11:8~11 節 (ES 姉)

『ああ、エフライムよ／お前を見捨てることができようか。イスラエルよ／お前を引き渡すことができようか。アダムのようにお前を見捨て／ツェボイムのようにすることができようか。わたしは激しく心を動かされ／憐れみに胸を焼かれる。わたしは、もはや怒りに燃えることなく／エフライムを再び滅ぼすことはしない。わたしは神であり、人間ではない。お前たちのうちにあつて聖なる者。怒りをもって臨みはしない。獅子のようにほえる主に彼らは従う。主がその声をあげるとき／その子らは海のかなたから恐れつつやって来る。彼らは恐れつつ飛んで来る。小鳥のようにエジプトから／鳩のようにアッシリアの地から。わたしは彼らをおのおのの家に住まわせると／主は言われる。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 11:33~35 節

『イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、心に憤りを覚え、興奮して、言われた。「どこに葬ったのか。」彼らは、「主よ、来て、御覧ください」と言った。イエスは涙を流された。』

<祈>

《パン裂き》

聖書⇒コロサイの信徒への手紙 1:19~22 節 (SK 兄)

『神は、御心のままに、満ちあふれるものを余すところなく御子の内に宿らせ、その十字架の血によって平和を打ち立て、地にあるものであれ、天にあるものであれ、万物をただ御子によって、御自分と和解させられました。あなたがたは、以前は神から離れ、悪い行いによって心の中で神に敵対していました。しかし今や、神は御子の肉の体において、その死によってあなたがたと和解し、御自身の前に聖なる者、きずのない者、とがめるところのない者としてくださいました。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11:23~26 節

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。』

(式)

礼拝讃美歌⇒401 番 (旧 286 番)

『主よいのちの御糧を』

《建徳》

聖書⇒ローマの信徒への手紙 5:4 節（EK 兄）

『忍耐は**練達**を、**練達**は希望を生むということを。』

聖書⇒エレミヤ書 50:9 節

『見よ、わたしは／大いなる国々の一団を奮い起こし／バビロンに向かって、北の国から攻め上らせる。彼らはバビロンに対して陣を敷き、攻め落とす。彼らの矢は**練達の勇士**のようだ。決して空しく帰ることはない。』

聖書⇒創世記 1:27 節（ES 姉）

『神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。』

礼拝讃美歌⇒194 番（旧 112 番）

『まもなく主来ます』

《建徳要旨》